

川根本町 図書室だより

4月 2024年4月号

回覧

・文化会館図書室(小長井)
・山村開発センター図書室(上長尾)
・移動図書館車やまびこ号:川根本町内7コース
TEL:0547-59-3106(文化会館)
TEL:0547-56-2231(山村開発センター)

☆ 開室時間:午前9時~午後5時

☆ 休室日:月曜日・第3日曜日(21日)・祝日の翌日(30日)

☆ やまびこ号巡回コースは



かわねフォン、町のホームページでご確認いただけます。
なお、年間予定表は図書室で配布しています。

新 着 図 書

『モラハラ離婚のトリセツ』

グレイス家事部 著 ぎょうせい

「夫がこわい」を卒業したい

文



「誰のおかげで生活できると思っ
んの?」「頭ワル」「家事はお前の
仕事だろ」——。
他人の目が入りにくい家庭で横行
する“モラハラ”。
年間1,000人の相談に対応する弁
護士である著者が、「これはモラハ
ラ?」や「離婚すべき?」という疑問
や迷いに寄り添いながら、モラ夫
による支配から脱出するステップ、モ
ラハラ離婚の注意点まで、踏み込
んで教えます!

『100年視力』

深作秀春 著 サンマーク出版

一生「いい目」で長生きしよう!

山



人にとって情報の「9割」は目か
ら。それなのに、数ある臓器のう
ち「目」だけは「むき出し」の臓器。
100年時代とはいえ、目の寿命
は60年ほど。
そんな目を「守り」「積極的に休
養」させる方法を、世界最先端に
して世界最高の眼科専門医が伝
授。これまでの通説を覆す、世界
基準の目の守り方を教えます。

『人生好転 稼ぐノート術』

一華五葉 著 東京ニュース通信社

ノートで自分の金脈を発見!

文

稼ぐためには、まず自分を知る
事!だからこの「稼ぐノート術」
には、自分と向き合い「真の願い」
にたどり着く秘訣が盛り山書かれて
います。「ホントは何がしたいのか
分からない」、「やりたいことが
あっても自信がない」という方も、
書くことを通して、自身を知り、全
てにおいて思い通りの豊かな人
生を生きるようになれる!



『話し方が上手くなる!声まで良くなる!1日1分朗読』

魚住りえ 著 東洋経済新報社

「1日1分朗読」には、 人生を変える力がある!

山

いい声になる、滑舌もよくなる、教
養も身につく、脳トレにもなる!
「坊っちゃん」「雪国」といった名文
を使って、1日1分で驚くほど朗読
と話し方が上手くなる朗読法を紹
介。魚住りえによるお手本が聴ける
QRコード付き。



◎ 新着図書



川根本町
インターネット
図書室
ホームページ



図書日より
バックナンバー

「川根本町インターネット図書室」では新刊の詳しい情報や蔵書の検索が可能です。

文化会館図書室所蔵	山村開発センター図書室所蔵
<p>●『しあわせの輪』 群ようこ 著 角川春樹事務所 「人間やネコたち、みんなが楽しそうにしているのを見ているのが幸せだ」 無職のキョウコさん、ひとり気ままに隅っこ暮らし— 心やすらぐ書き下ろし長篇。 大ロングセラー「れんげ荘物語」シリーズ、第8弾。</p>	<p>●『北辰の門』 馳星周 著 中央公論新社 時は天平。都には天然痘が蔓延し、朝廷にて我が世の春を謳歌していた藤原一族も権勢に陰りを見せていた。その中において、ひとり異彩を放つ、藤原仲麻呂(恵美押勝)。疫病に荒れた世を建て直す救国の英雄か、古代社会を破壊する稀代の逆賊か.....。</p>
<p>●『シャーロック・ホームズの凱旋』 森見登美彦 著 中央公論新社 天から与えられた才能はどこへ消えた？ 舞台はヴィクトリア朝京都。洛中洛外に名を轟かせた名探偵ホームズが.....まさかのスランプ!?この大迷宮...どう抜け出す？</p>	<p>●『錠剤F』 井上荒野 著 集英社 バイト先のコンビニに現れた女から、青年は「ある頼みごと」をされて—「びびピーズ」 男を溺れさせる、そんな自分の体にすがって生きられない女は—「みみず」.....ほか、孤独を掘り起こす短編10作を収録!</p>
<p>●『ホットプレートと震度四』 井上荒野 著 淡交社 「ホットプレートほしい人いませんか?」—或る日、或る食卓、9つの物語。 女も男も、子どもも大人も。誰にでも、感情を呼び起こす“食と道具”がある。食にまつわる道具”を通して揺れ動く老若男女を描く。</p>	<p>●『ぼくは青くて透明で』 窪美澄 著 文藝春秋 「ぼく」(羽田海)は、血の繋がらない継母の美佐子さんと二人暮らしをしている。ぼくが高校一年の夏に、美佐子さんの仕事の都合で引っ越しをすることになった。勉強も好きじゃないし、運動も得意じゃない。そんなとき、「ぼく」は、転校先の高校で忍と出会った.....。出会ってしまった。</p>
<p>●『ブラック・ショーマンと覚醒する女たち』 東野圭吾 著 光文社 亡き夫から莫大な遺産を相続した女性の前に絶縁したはずの兄が現れ、「あんたは偽者だ」といいます。女性は一笑に付すが、一部始終を聞いていた元マジシャンのマスターは驚くべき謎解きを披露する.....。</p>	<p>●『きらん風月』 永井紗耶子 著 講談社 絵も歌も戯作もこなし、「尼子十勇士」を世に知らしめた栗杖亭鬼卵。寛政の改革で一度は天下人となった元老中・松平定信。鬼卵の昔語りは、やがて定信の半生をも照らし、大きな決意を促して...</p>
<p>●『ノラネコぐんだんぺこぺこキャンプ』 工藤ノリコ 作 白泉社 仕事が休みで、キャンプにやってきたワンワンちゃんとマーミーちゃん。ふたりがテントのそばを離れた隙に、ぐんだんはふたりの朝ごはんを全部食べてしまい...</p>	<p>●『おしえて!あむあむさん』 間部香代 作 世界文化ワンダーグループ ひつじのあむあむさんは、森の編み物屋さん。ある日、くまさんが小さくなって着られなくなったセーターを持ってやってきます。あむあむさんは毛糸をほどいて.....。</p>



『運命好転十二条』 小林正観 著 三笠書房

「天運」を味方にする方法

著者曰く、「本当の幸運というのは、何も起きないで、普通の日々、普通の時間が淡々と過ぎていくということです。それ以上の幸運、幸福はありません。」なのだそう。

健康である、普通に食べられる、普通にビールが飲める、普通に働ける、普通に勉強できる、普通に歩くことができる等、これが最高の「運」の極みだと言っています。

そのために必要な12条がわかりやすく書かれていて、

- 第1条 (さわやかであること)
- 第2条 (幸せを口にすること)
- 第3条 (素直であること)
- 第4条 (誠実であること)
- 第5条 (掃除をすること)
- 第6条 (笑うこと)

どれもお金をかけずに簡単にできることばかりです。中でも私のお気に入りには第7条(感謝する)です。『ありがとう』を数千回、数万回口に出して言うと、いろいろなことがとてもいい感じになっていくようです。

図書室スタッフH

山村開発センター図書室所蔵